

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

認定管理番号 2822202

名称	静岡インバウンド誘致協議会			
住所	〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町4-10			
代表者氏名	海野 博揮			
連絡先	054-253-1165			
構成員	ホテルガーデンスクエア静岡、油山温泉元湯館、 <u>バイホテル入船館</u> 、 <u>ホテルクエスト清水</u> 、潮生館 (構成員5者、うち補助対象事業者3者) (計画時5者)			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1) Wi-Fi整備 3件、(3) 自社サイトの多言語化 1件、(7) タブレット端末の整備		
	実施時期	平成28年11月22日～平成28年12月27日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 3,887,400円 補助金合計 1,899,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (H27年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第1四半期 (4～6月)	62.9 (%) (64.5)	66.9 (%) (68.0)	71.4 (%)
	第2四半期 (7～9月)	73.9 (%) (76.3)	78.3 (%) (80.1)	78.9 (%)
	第3四半期 (10～12月)	72.1 (%) (74.4)	77.3 (%) (79.0)	78.1 (%)
	第4四半期 (1～3月)	67.5 (%) (69.6)	72.3 (%) (73.9)	74.5 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>年間を通じてほぼ目標値に近い全体稼働率を得ることができた。これは、当地域において官民一体となり、土曜・日曜・祝日の中小規模のイベント開催などに取り組んだ結果、土曜日等の稼働率に伸びが見られたことが理由だと思われる。ビジネス系の宿泊施設にとって、出張客等の利用が少ない日を埋められることは、安定的な稼働を維持する好要因となり得る。今後も行政機関や関係団体との連携を図りながら、稼働率の落ちやすい時期に宿泊を伴うようなイベント等の開催を企画できるよう努めていきたい。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前> (H27年度)</p>	<p><目標> (H29年度)</p>	<p><実績値> (H29年度)</p>
	<p>第1四半期 (4~6月)</p>	<p>811 (人) (775)</p>	<p>1,691 (人) (1,607)</p>	<p>1,731 (人)</p>
	<p>第2四半期 (7~9月)</p>	<p>841 (人) (807)</p>	<p>1,630 (人) (1,538)</p>	<p>1,459 (人)</p>
	<p>第3四半期 (10~12月)</p>	<p>846 (人) (815)</p>	<p>1,653 (人) (1,579)</p>	<p>1,751 (人)</p>
	<p>第4四半期 (1~3月)</p>	<p>741 (人) (714)</p>	<p>1,333 (人) (1,255)</p>	<p>1,551 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>補助を辞退した事業者を除いた場合、年間を通じて目標値にほぼ近いか、それを上回る宿泊者数を得ることができた。全体を均してみると順調のように感じるが、施設ごとに見ると多少のバラつきが見受けられる。 今回の補助事業で自社サイトの多言語化を実施したほか、海外予約サイトなどを積極的に利用した施設では、外客の伸び率が高いようである。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>主に中国からの訪日団体旅行が盛んだった数年前は、富士山静岡空港を利用したツアーも多数実施されていたが、アジア圏からの外客の旅行形態がFITに移行しつつある現在、それに対応するための情報発信や、予約サイト・旅行代理店・コーディネーターの選択・活用についても今後の検討材料となるだろう。 また、欧米からの旅行者にとっても旅行先として選ばれる場所になるため、歴史・文化など地域資源の魅力を再確認し、宿泊客に多言語での情報提供ができるようスタッフのスキルアップも目指していきたい。</p>			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

認定管理番号 2822204-00

名称		天城湯ヶ島温泉旅館組合			
住所		〒410-3206 静岡県伊豆市湯ヶ島176-2			
代表者氏名		土屋 晃			
連絡先		0558-85-1055			
構成員		湯本館、白壁荘、船原館、嵯峨沢館、落合楼村上、たつた、 (株) Dress/arcanaisu、東府やResort&Spa-Izu、白雲楼、 月ヶ瀬雲風々、御宿さか屋、ホテルかの川、あせび野、天城 ふるさと広場、リブマックス天城湯ヶ島 (構成員 15者、うち補助対象事業者 4者)			
団体 事業	具体的な内容				
	実施時期				
	必要な資金の額及びその調達方法				
個別 事業	具体的な内容	Wi-Fiの整備 1件、トイレの洋式化 1件、 自社サイトの多言語化 1件、客室の和洋室化 1件			
	実施時期	平成28年11月23日～平成28年12月22日			
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費 4,025,020円 補助金額 1,912,000円			
全体稼働率の目標及び実績値			<事業開始前>	<目標>	<実績値>
		第1四半期	50.9 (%) (50.9)	52.3 (%) (55.8)	53.6 (%)
		第2四半期	55.7 (%) (55.6)	62.7 (%) (63.4)	43.6 (%)
		第3四半期	53.8 (%) (54.3)	62.1 (%) (65.5)	71.1 (%)
		第4四半期	53.4 (%) (56.1)	61.7 (%) (70.0)	52.3 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率実績値は目標を下回る結果となってしまいました。その要因として昨年からは旅館組合は伊豆市観光協会天城支部と連携し、生い茂った余分な木々を伐採、除伐し、光をあたえもみじを赤く紅葉させるための整備を強化しています。その為、20年来進めてきた紅葉まつりを中止し資金を伐採事業へ回すなどイベントでの集客が出来ないことが低下した要因と考えられます。 ・平成30年には東京オリンピック・パラリンピックと、伊豆市はもとより天城湯ヶ島地区を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。まずは、又訪れたい町となるよう引き続き環境づくりに力を注いでいきます。 			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>252 (人) (97)</p>	<p>516 (人) (296)</p>	<p>413 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>336 (人) (173)</p>	<p>502 (人) (265)</p>	<p>260 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>337 (人) (207)</p>	<p>486 (人) (276)</p>	<p>272 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>519 (人) (304)</p>	<p>668 (人) (395)</p>	<p>454 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助を辞退した事業者が3者いるため、外客宿泊者数は目標値を下回る結果となったが、最終的な補助対象事業者(4者)のみで事業実施前、目標の数値を算出し直してみると、目標を上回っている。 ・静岡県の伝統的なわさび栽培は「世界農業遺産」に認定されました。旅館組合の若手事業委員は積極的に外国メディア対象の静岡プレスツアー「Wasabi」を開催。取材を通して静岡県が誇る「わさび」を世界に向けて発信した事が外国人の集客に結びついたのだと思います。(中国、ロシア等各国から11名が参加しました) 			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>静岡県では、「静岡の茶草場農法」と「静岡水わさびの伝統栽培」に続き伊豆半島ジオパークが世界ジオパークへ認定されました。インバウンド客層は山の散策や伊豆の踊子、わさび等にも興味がありこれらの認定は天城の観光振興に追風</p>			

	<p>となる事と思います。また、平成30年度中には天城北道路が月ヶ瀬に開通され新東名・東名高速道路から伊豆市・天城温泉郷まで一色線です。アクセスが大幅にアップし更なる外客宿泊者の獲得が期待できます。</p>
--	---

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	田方地区インバウンド推進グループ			
住所	静岡県伊豆市土肥 6 7 0-2			
代表者氏名	代表 後藤一之			
連絡先	0 5 5 8-9 8-0 5 2 3			
構成員	株式会社土肥ふじやホテル 牧水荘土肥館 宙 SORA 渡月荘金龍 修善寺温泉ホテル滝亭 伊豆畑毛温泉大仙家 ホテルラフォーレ修善寺センターコテージ (構成員 6 者、内補助対象事業者 6 者)			
団 体 事 業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個 別 事 業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (H27年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第 1 四半期	4 7 . 9 (%)	4 7 . 5 (%)	47.3 (%)
	第 2 四半期	5 8 . 9 (%)	6 2 . 9 (%)	60.2 (%)
	第 3 四半期	4 6 . 3 (%)	4 9 . 7 (%)	48.2 (%)
	第 4 四半期	5 1 . 4 (%)	5 3 . 6 (%)	53.9 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>ホテルラフォーレ修善寺センターコテージの改修工事があり、付帯設備が一部稼働出来なかった為に第1四半期～第3四半期においては目標を達成出来なかった。第4四半期においては目標を達成しており、今後の更なる飛躍が期待できるところである。</p> <p>しかしながら、人手不足の問題については改善の兆しがなく、今後、人手不足により全ての客室を使用できなくなる可能性があり予断を許せない。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前> (H27年度)</p>	<p><目標> (H29年度)</p>	<p><実績値> (H29年度)</p>
	<p>第1四半期</p>	<p>8,482 (人)</p>	<p>9,990 (人)</p>	<p>3,792 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>7,525 (人)</p>	<p>10,985 (人)</p>	<p>6,209 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>5,638 (人)</p>	<p>7,505 (人)</p>	<p>6,294 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>7,257 (人)</p>	<p>8,760 (人)</p>	<p>8,625 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>箱根地域の火山噴火の影響が無くなり、中国人団体客が箱根地域へ流れた事が目標を達成出来なかった大きな要因と考えます。しかしながら、第3四半期、第4四半期は目標は達成出来なかったものの事業開始前の水準は上回っており、今後に期待できると考える。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>各施設ごとの宣伝力を強化し、また地域の観光キャラバン等にも積極的に参加し、目標達成に向け努力していく。</p> <p>また、本年度末には天城北道路が延伸し所要時間が短縮する事をPRの材料として更なる飛躍に向け努力する。</p>			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	高山北商工会 インバウンド受入促進協議会
住所	岐阜県高山市国府町広瀬町886-1
代表者氏名	会長 中田 昭彦
連絡先	0577-72-4130
構成員	<p>①新穂高佳留萱温泉 株式会社 (水明館佳留萱山荘)</p> <p>②静岳館</p> <p>③有限会社 草円 (山のいおり 草円)</p> <p>④民宿たきざわ</p> <p>⑤株式会社 中尾平 (山の旅舎 中尾平)</p> <p>⑥株式会社 中林工務店 (旅荘つゆくさ)</p> <p>⑦合資会社 中村旅館 (中村館)</p> <p>⑧有限会社 旅館飛驒牛の宿 (旅館飛驒牛の宿)</p> <p>⑨株式会社 ひらゆの森 (ひらゆの森)</p> <p>⑩合資会社 平湯プリンスホテル (平湯プリンスホテル)</p> <p>⑪有限会社 鄙の館松乃井 (鄙の館松乃井)</p> <p>⑫有限会社 奥飛驒ガーデンホテル焼岳</p> <p>⑬有限会社 槍見館</p> <p>⑭有限会社 安房館 (もずも)</p> <p>⑮アルプス観光 株式会社 (穂高荘 山のホテル)</p> <p>⑯有限会社 栄太郎 (お宿 栄太郎)</p> <p>⑰有限会社 かつら木 (いろりの宿 かつら木の郷)</p> <p>⑱有限会社 旅館岐山 (旅館 岐山)</p> <p>⑲有限会社 四反田 (旅館 四反田)</p> <p>⑳有限会社 なかだ館 (なかだ屋)</p> <p>(構成員20者、うち補助対象事業者①、⑦、⑨、⑭～⑳・・・10者)</p>
団 体	具体的な内容
	実施時期

事業				
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	【補助対象事業】 館内及び客室内のWi-Fi整備、館内及び客室内のトイレの洋式化、自社サイトの多言語化、館内及び客室内の案内表示の多言語化、客室の和洋室化 【件数】 11件		
	実施時期	平成28年11月23日～平成28年12月27日		
	必要な資金の額及びその調達方法	【補助対象経費合計】 12,197,000円 【補助金合計】 5,185,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	53.2 (%)	60.9 (%)	55.5 (%)
	第2四半期	60.6 (%)	68.1 (%)	63.4 (%)
	第3四半期	57.8 (%)	63.5 (%)	55.8 (%)
	第4四半期	50.2 (%)	56.3 (%)	53.6 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	どの期間においても目標値に届かなかった。原因としては、繁忙期の週末や祝日において台風などの天候不良による団体及び個人客のキャンセル（8月～10月）が相次いだことや、梅雨期間、冬の閑散期の宿泊者の冷え込み等によるものだと考えられる。また国内旅行者については、高速道路や新幹線などの交通インフラの整備が進んだことにより行先の多様化及び日帰り旅行が増加したことも減少した要因の一つになったとも考える。 一方、構成員企業の中には、外国人宿泊者への部屋出しを特に閑散期において積極的かつ計画的に行い、日本人宿泊者の減少分を外国人宿泊者で補っている企業も多い。			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	8,936 (人)	12,227 (人)	9,994 (人)

	第2四半期	4,163 (人)	6,690 (人)	4,978 (人)
	第3四半期	5,317 (人)	7,715 (人)	6,979 (人)
	第4四半期	6,252 (人)	9,288 (人)	7,351 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>どの期間においても目標値に届かなかった。主な原因としては、天候不良による個人及び団体客のキャンセルや、冬期における宿泊者の落ち込みにより目標を下回った。</p> <p>また、近年周辺観光地の宿泊施設においてもインバウンド対応が進み、受け入れ施設が増加したことで低価格化や競争激化による影響も考えられる。</p> <p>しかしながら、全体としては平成27年度対比4,634人増の118%となり目標値には届かなかったが年々増加している。</p> <p>構成員企業の中には、通年で日本人が少ない平日や閑散期において計画的に海外エージェントへの部屋出しを行ったり、20部屋以上の中規模施設では、海外の団体客を上手く取り込んでいる。国内・海外の旅行会社（ランドオペレーター）においては、当地域である奥飛騨温泉郷と周辺観光地である世界遺産白川郷や飛騨高山とセットでプランを企画・販売することが増え、エージェント数も増えていることから、海外の団体客の取り込みも堅調に推移している。</p>			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	<p>目標には届かなかったが、全体的には稼働率が1.5%上昇、外国人宿泊者数も事業開始前の平成27年度比4,634人増の118%となった。これは構成員企業において日本人宿泊者が落ち込む中でインバウンド対策を積極的に実施した結果であり、エリア全体の外国人受入能力の向上と稼働率の向上に大きく貢献した。</p> <p>また、高山北商工会では、販路拡大に資する取り組みとして平成29年11月に当温泉施設10社でタイ・バンコク観光商談会を実施した。この事業は、タイの旅行会社17社に対して参加宿泊施設が直接商談した他、現地旅行会社へのセールスコールを実施したことで、タイの団体客の獲得に成功。現在も本事業で培ったノウハウや人脈を活用し当地域への集客を推進している。</p> <p>今後1年間における改善策としては、各施設が今回補助金を活用し外国人旅行者のニーズに応えるために整備したインフラ面をより訴求できるような方策を施し、外国人旅行者により認知していただき、当地域への旅行を促進させ</p>			

る工夫が必要である。

また、当地域には120もの宿泊施設があるという強みを活かし、さらに各宿泊施設がターゲットを絞り込んだ集客戦略を立てることにより、多様な国のお客様の様々なニーズの受け皿となることができるよう、当団体としても「観光地経営の導入」「外国人対応可能な人材の不足に対する対応」「公共エリアにおける設備改善」「外国人宿泊者ニーズに応じた事業の創業支援（ゲストハウス、泊食分離対応のための飲食店、ガイドツアー）」などについて、観光協会、行政等の各種団体との連携により課題解決を実施していく予定である。